

令和4年度 第5回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和4年7月7日（木） 15時30分から16時30分まで

開催場所：A301-302会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、塚平企画部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、米山建設部長、田中危機管理部長、土屋上下水道局長、北原会計管理者、松下教育委員会参与、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、林福祉課長、清水産業振興課長、福岡経営企画課長、筒井議会事務局次長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・6月議会について、お礼を申し上げる。議員から様々な質問をいただいたが、皆さんのおかげで対応することができた。反省等をそれぞれ出していただき、次の議会に生かしていきたい。
- ・今週末の日曜日は参議院選挙になる。職員で選挙事務に携わる方、今既に携わっている方等いると思うが、協力をお願いする。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況は、連日20名を超える管内での陽性者が確認されており、警戒レベル3になってもおかしくない状況にある。
- ・第7波と言われるような状況が全国的にある中、感染者数が増えてから慌てることのないよう、今後の変化を想像して準備するようお願いする。
- ・信州大学の誘致については、引き続き市としてしっかり誘致に向けた取組をしていく。市民から誘致は難しいのではないか、大丈夫なのかといった心配の声をいただく場面もあると思うが、一緒に頑張っていきたい。と言って、地域一丸となって誘致の取組を進めていくようお願いしたい。
- ・マイナンバーカードの取得率が低い状況にあり、市民課を中心にマイナンバーカードの普及を行っている。マイナンバーカードのメリットという話もあるが、これから市としてDXを進めていく際の社会インフラとして必要なものと認識し、普及に努めていただきたい。
- ・掲示板に繰り返し掲載されている不在着信の対応について、こういった基本的な対応をしっかりとやらなければいけない。仕事を通じて市民の皆さんの信頼回復に努めようとしているなかであり、基本的な行動をしっかりと行うよう職員に徹底していただきたい。
- ・まちづくり懇談会が始まっている。各部長は、20地区の中から居住地区や自分に関係がありそうなテーマの地区を選んで、最低1回は懇談会に出席いただきたい。

＜副市長＞

- ・マイナンバーカードの普及が進んでいない自治体が招集された会議に出席をした。県としても、地域振興局単位で広域的な出張申請を検討するとのことで、出張申請等できることは何でもやることを確認した。職員とその家族のマイナンバーカードの取得について、職員は検討するようお願いしたい。

＜教育長＞

- ・議会について、自己反省は多々あるが、次に生かしていきたい。
- ・学校における新型コロナウイルス感染症の状況は、昨日までは3校6学級の学級閉鎖があり、今日は2校2学級の学級閉鎖となっている。委員会や修学旅行の延期等、7月は行事も多く、保健所とも相談をしながら慎重に進めているところである。
- ・本日は、行政評価についての報告がある。事業計画の際には、どういう数値目標にするか、何を指すのか、評価はどうするのかといったところが、すごく難しくまた大事であると思う。市の行政評価は、数値だけでなくパフォーマンス評価的なものが多くあり、取組の経過が書かれていることが良い点だと思った。

2 報告事項

(1) 議会による行政評価について（企画部）

◇趣旨

- ・議会における行政評価の実施方法について確認する。

(2) 令和4年度市長と語るまちづくり懇談会で市へ要望された案件の対応について（市民協働環境部）

◇趣旨

- ・令和4年度市長と語るまちづくり懇談会で市へ要望された案件の対応について確認する。

<市長>

- ・各まちづくり委員会の皆さんからすると、昨年のまちづくり懇談会のテーマを今年も取り上げなければいけないということは、1年経っても全然進んでいないということになる。そういうことではいけない。まちづくり懇談会の挨拶では、昨年いただいた意見の主なものについて取組状況について触れている。
- ・今年度の場合は、昨年の様子を今、所長に確認しているのが実態であるが、終わってすぐから情報を共有し、できるだけ早く解決していくようにしていきたいということが今回の趣旨である。
- ・政策課題に対する取組に係る手続きは、今まで通りしっかりとやらなければならないし、一覧表に載せるまでもなく処理されていくものもあるかもしれないが、1年経ったときに進捗が確認できるよう、市民協働環境部に統一した対応をお願いしたところである。
- ・まちづくり懇談会で出された案件のうち、現場確認が必要なものはすぐ行くようにしてもらいたい。

3 令和4年飯田市議会第2回定例会の反省について

◇主な意見

<副市長>

- ・一般質問に関しては、中心市街地の活性化、地域通貨の導入、りんご並木の賑わいといったような、これからの将来像へ影響するような提言や意見が多くあったと思う。今すぐにどうするのかということよりも、議員がどういう意識で発言されたのかを覚えておいて、次の計画づくり等にしっかりと生かさなければいけない。それぞれの担当で整理をしてもらいたい。
- ・委員会について、議案審議の中で、議員の質問に対する答弁がかみ合っていない場面があった。同じやりとりを繰り返す際に、「さきほども申し上げましたが」と言わないこと。
- ・議会としてまとめて提言が出てきたとしても、詳細については異なった問題意識を持っている議員もいるので、議員ごとの問題意識をみんなで共有しておく必要があると感じている。

<企画部長>

- ・委員会の説明で、「タブレットの何ページ」と案内する課長が多かったと聞いている。主管課長会議で連絡したことは徹底すること。コロナ禍で委員会等への出席が制限され、課長が勉強する機会が少ない現状があるので、YouTubeで委員会を見ていただきたい。各部局長から主管課長へ、主管課長から各課長へ改めて周知してほしい。

<議会事務局次長>

- ・傍聴席に入られた方へアンケートをお願いしており、アンケートの回答の中で、執行機関側の答弁が聞こえないというものが多かった。マイクシステムの点検を議会事務局で実施するが、特に一般質問での答弁においては、部局長はマスクをしたままとなるため、マイクへの音声の入りも悪くなる可能性がある。今一度注意をしていただいて、できるだけマイクが音を拾いやすいように答弁していただくをお願いしたい。

<総務部長>

- ・説明において、歳出・歳入の順で説明することがルールとなっているはずだが、歳入から説明している場面があった。ルール通りの徹底をお願いしたい。

<教育長>

- ・予算案の答弁でのマイクについてだが、自分が喋っていて声量が適切であるかは自分ではわからないためど

うすればいいか。

<市長>

- ・喋り方を意識することも必要かもしれない。マイクの指向性にも限界があるため、日常会話とは違う、語尾まではっきり喋るといった意識は必要。

4 その他、連絡事項

- ・伝票返戻調査実施に伴う返戻状況（事由及び件数）について （会計課）
- ・9月補正に係る手続きについて （企画課）

4 閉 会